

# 第54回神奈川県放送アンデパンダン大会 実 施 要 領

## 1. 目的

生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づける。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて情報発信としての校内放送活動の発展をはかる。

## 2. 主催・後援

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会、神奈川県高等学校文化連盟

後援：神奈川県教育委員会、日本工学院、ラジオ日本、FMヨコハマ、テレビ神奈川  
神奈川新聞社、朝日新聞社横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞社横浜支局

## 3. 日程・会場

2020年3月15日(日)	県立麻生高等学校
・生徒実行委員集合(準備)	8:30~9:00
・審査チーフ集合(会議)	8:30~9:00
・審査員集合(打ち合わせ)	9:00~9:30
・会場受付	9:00~9:15
・会場説明	9:15~9:30
・審査開始	9:30
・代表者会議	13:30~14:30
・閉会式	14:30

## 4. 参加資格

2020年2月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学している生徒であること。ただし、参加できるのは1、2年生とし、大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は1名以上とし、3年生でもよい。

## 5. 出場申し込み

提出書類：①参加申込書(公印の押されたものをPDFデータに変換)

②エントリーデータ(エクセルデータのまま)

③審査員希望表(エクセルデータのまま)

※エントリーデータのパスワードは、参加申込書に記載

提出方法：県立金井高校 吉田健一(k-yoshida@open-kanagawa.ed.jp)宛に提出書類①~③をメールに添付

提出期間：**2020年1月13日(月)~2020年1月24日(金)**

## 6. 部門・出場数・出場費

部 門	出 場 数	出 場 費
アナウンス	無制限*	一人当たり500円
朗 読	無制限*	一人当たり500円
放 送 劇	2本	一本当たり500円
映 像	2本	一本当たり500円
SV(ショートビデオ)	3本	一本当たり500円

\*アナウンスと朗読に同一の生徒は 出場できません。

(1) 振込期間 2020年1月13日(月)~1月24日(金)

(2) 振込先 横浜銀行(0138) 上溝支店(412) 口座番号(普通)6048229  
神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部  
会計 浦田 勝也

\*振込手数料は、各学校でご負担ください。

\*振込依頼人は、例の通りをお願いします。

例： 県立〇〇〇高等学校長 私立〇〇〇高等学校

## 7. 表彰

全部門通して、各会場30名以上の場合は1位～10位まで  
各会場30名にいかない場合はエントリー数の30%  
(端数繰り上げ。複数会場の場合は少ない方に合わせる)

## 8. 審査員の選出

- ①参加校各1名以上の生徒が審査にあたる。
- ②審査員は次の注意を守ること。
  - ☆ 部長(委員長)もしくはそれに準じる者であること。
  - ☆ 大会当日中の交代は不可
  - ☆ 3年生も可

## 9. 審査基準

- ①高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
  - ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
  - ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
  - ④詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。  
最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。
- \* 作品は、未発表のものとする。

## 10. 注意事項

- ① 全部門を通じ、出場申し込み後の変更は出来ません。
- ② 申し込みの確認(名前・部門・学年)内容を、Webページ「集まれ!放送委員会!!」に掲載します。運営側の入力ミスがないか必ず確認してください。  
確認期間は1月28日(火)～1月30日(木)です。
- ③ 原稿、番組進行表・ディスクは所定部数を出場1名、1本ごとにA4の封筒に入れ、必要事項を記入し、大会当日に発表場所ごとの受付に提出してください。
- ④ 著作権処理が不備であることによって減点・失格となるケースがあります。  
赤本をよく読んで、正確に処理してください。
- ⑤ **この大会に参加することにより、氏名、学校名、学年、写真等の個人情報が、ホームページ、プログラムや記録集及び新聞等のメディアに掲載・公開される場合がありますので、ご承知おきください。**なお、このことについてご質問がございましたら、NHK杯全国高校放送コンテスト県担当者へお問合せください。

問合わせ先： 眞田 明広 〒250-0003 小田原市東町 4-12-1 小田原東高等学校  
0465-34-2847 (学校代表)

## 11. 各部門参加・制作規定

### A アナウンス部門諸規定

- ① 内容：自校のニュースや解説など、高校生活中から生まれた若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。
- ② 自校の校内放送に使用する内容でなければならない。本大会で使用した同じ原稿は、**第67回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会では使用できません。**
- ③ 時間：1分10秒～1分30秒。番号、氏名を含む。
- ④ 計時：最初の声から最後の声までとする。  
但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

## B 朗読部門諸規定

- ①内容：次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。  
作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。  
**抽出は、文頭から開始し、文末で終了とすること。一文途中の開始や終了は改変とみ  
なす。本文中の（ ）内も読むこと。（読み仮名・訳者注を除く）**

- 1) 「柳橋物語・むかしも今も」 山本 周五郎 著（新潮文庫）
- 2) 「日日是好日—『お茶』が教えてくれた15のしあわせ—」  
森下 典子 著（新潮文庫）
- 3) 「海の見える理髪店」 荻原 浩 著（集英社文庫）
- 4) 「自負と偏見」 ジェイン・オースティン 著  
小山 太一訳（新潮文庫）
- 5) 「雨月物語」 上田 秋成

注意：電子書籍不可。

(1)は2014年発行以降の新装版に限る。(2)は収録作品のいずれを選んでも良い。

(5)は現代語訳不可、出版社は問わない。

※指定作品(1)、(3)は選定した章のタイトルを作品名として読むこと。

(2)は「日日是好日」を作品名として読むこと。

②時間：1分30秒～2分00秒。番号、氏名、作者名、作品名を含む。

③計時：最初の声から最後の声までとする。

但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

## C 番組制作部門諸規定

① 種類と時間：放送劇…1分00秒～8分00秒以内

映像…1分00秒～8分00秒以内（映像部門のテーマは今年もありません。）

ショートビデオ … 30秒

② 内容：生徒自らの創作に限る。未発表の作品に限る。

③ 制作者：3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に学年・  
氏名・係(役)を明記すること。

④ 使用メディア：

・放送劇部門

オーディオCDを使用すること。

・映像部門、ショートビデオ部門

DVD-Rビデオ形式を使用すること。

⑤ 録音・再生：

・放送劇部門

ア) 左右両チャンネルに同じ音を録音する。

イ) 作品前後の無音部分は切り詰め、作品時間がわかるようにする。

ウ) 再生エラーがあるので、完成後、複数の機械で再生してテストすること。

エ) 審査は、モノラル、で再生して行なう。

オ) 録音は最後に「制作は〇〇高等学校放送部(委員会)でした」というクレジットコール  
を入れる。

・映像部門

\* 番組の最初と終わりには、テストパターンを**5秒間**入れること。テストパターンについては、第66回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。

\*アスペクト比は16:9とする。

・ショートビデオ部門

\* 番組の最初に、テストパターンを**5秒**入れること。テストパターンについては、第66回NHK杯全国高校放送コンテストの様式を使用すること。各校自作のテストパターン(静止画)の使用も可とする。

\*アスペクト比は16:9とする。

- ⑥ 計時：
- ・放送劇部門
    - ア) 計時は、第1音目から計時を行う。
    - イ) クレジットコール終了とともに再生を終える。  
その後どんな音が入っていても審査の対象とはならない。
  - ・映像部門
    - ア) 計時は最初のテストパターンが終了した時点から開始する。
    - イ) 計時終了は次のテストパターンが出た時点とする。
  - ・ショートビデオ部門
    - ア) 計時は最初のテストパターンが終了した時点から開始し、30秒経過した時点で放映を中止する。
- ⑦ ラベル：
- CDやDVD本体の表面には、部門名・会場名・学校名(略称可)を直接マジックペン等で記入すること。
- ⑧ 著作権処理について:適切に処理すること。

## 12. 原稿に関する規定

- ① NHK杯全国高校放送コンテストのWebサイト(「集まれ!放送委員会!!」のサイトよりリンクできるようになっています。)より「アナウンス・朗読原稿」「番組進行表」作成のために必要な様式をダウンロードし、赤本に従って作成する。
- ☆ アナウンス・朗読(様式1)
- 注:A4サイズに印刷をして、真ん中で折って、仕上がりA5版にする。
- ☆番組→番組進行表(様式2-1~4)、その他の許諾書他
- ② 作品1本(1人)についてアナウンス・朗読は2部、番組は番組進行表を1部提出する。
- ③ アナ朗部門は「アナウンス・朗読原稿」、番組部門は「番組進行表」とCD-R又はDVD-RをA4サイズ(角2)の封筒に入れ、封筒の表には見本のとおりに記載する
- ④ 封筒表書の見本

### <アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	〇〇部門
ころ	夏目	○	県立	A
	漱石	○	〇〇	会場
		○	高等学校	13番

### <番組・研発>

再生時間	タイトル	団体名	学校名	〇〇部門
○分○秒	△△◎◎	○	県立	B
		○	〇〇	会場
		○	高等学校	23番

- 注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。
- 注意2 事前にWebページ「集まれ!放送委員会!!」で発表されるエントリー一覧を見て会場名、発表順番を記入する。
- 注意3 この規定に違反した場合、減点及び失格になる場合があります。